

市立大学に新しく 社会保育学科が誕生します

－保健福祉学部の再編強化－

名寄市立大学では、保健福祉学部（栄養、看護、社会福祉の3学科で構成）の再編強化を図るため、平成28年4月に短期大学部児童学科を改組した社会保育学科を保健福祉学部を設置することを決め、平成26年12月、短期大学部児童学科の学生募集をこの春入学する平成27年度入学生を最後に停止することを、文部科学省に報告しました。

社会保育学科を設置することとした経緯などについて、お知らせします。

1 経緯

短期大学部児童学科は、平成18年4月の市立大学開学時、短期大学として存続しましたが、平成20年頃から学内では将来構想の検討が始まり、平成25年度に検討準備会議での協議を経て、平成26年6月市議会議員協議会に設置者である加藤剛土市長が社会保育学科設置計画を報告、青木紀学長が計画の内容について説明しました。

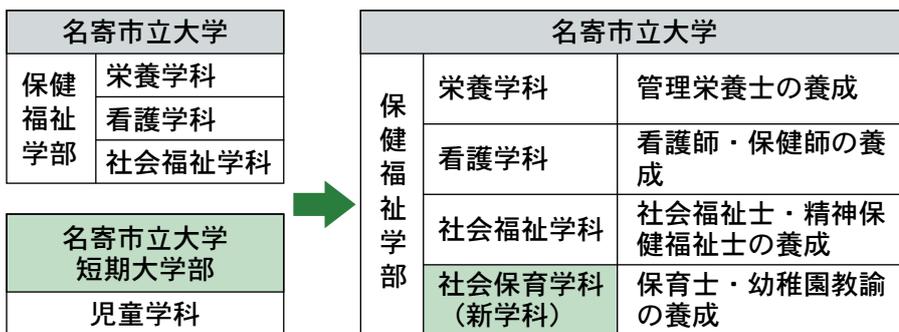
市議会では、7月に2度の総務文教常任委員会での審議ののち、9月には名寄市立大学再編構想調査特別委員会（委員長 駒津喜一議員）が設置され、6度にわたる審議の結果、12月19日市議会定例会最終日に駒津委員長からの社会保育学科設置計画に一定の理解が得られたとする旨の報告を受け、市長が平成28年4月の社会保育学科設置を表明したものです。



2 社会保育学科の概要

- 入学定員 50人
- 授与する学位 学士（保育学）
- 取得可能となる資格・免許
 - ① 保育士資格
 - ② 幼稚園教諭一種免許状
 - ③ 特別支援学校教諭一種免許状

再編成強化の全体図



3 社会保育学科設置の趣旨

現在の市立大学保健福祉学部は、栄養学科、看護学科、社会福祉学科の3学科で構成され、いずれの学科も「ひと」を対象とする支援サービスに優れた能力を備えて携わる人材を育むことを使命としています。

保健福祉学部子どもを対象とする領域に特化した社会保育学科を設置することは、既存3学科と社会保育学科の連携により食育、病児保育、発達障害など、現代的な諸課題に対応する質の高い教育・研究を行うことを可能とし、保健福祉学部のさらなる総合的発展が期待できます。さらに、高齢者に偏りがちな地域のケアのあり方に子どものケアの視点を加えることによって、地域の持続的発展につながります。

また、保育系学科の設置は、道内国公立大学では初となり、保育・幼児教育に携わるリーダーを育てることとは、市立大学の使命であり、社会的ニーズに応えることとなります。



4 社会保育学科の 教育目標

社会保育学科は、「ケアの未来をひらき、小さくてもきらりと光る大学を目指す」という理念の下、次の教育目標を設定します。

- (1) 多様な子どもを理解し、さまざまな困難を抱えながら育つ子どもを支援する技能を身につけた人材を育む。
- (2) 社会的視野から子どもの育ちや権利に関する諸課題を発見し、その解決に向けてリーダーシップを発揮できる人材を育む。
- (3) 子どもに向き合い、子どもに寄り添うことのできる、たくましくしなやかな身体と感性、フレキシビリティを備えた人材を育む。
- (4) 子ども・家庭支援の基礎となるコミュニケーション力を身につけ、他者との関係性を構築できる人材を育む。
- (5) 地域において子どもに関わる他職種間の連携・協働におけるパートナーシップを実践できる人材を育む。

5 教員組織の編制・ 配置計画

社会保育学科の教育は、保育士および幼稚園教諭の養成を軸に、障がいなどのある子どもに関する専門的知識・技能を高めるため、特別支援学校教諭の養成も行つこととしていくことから、14人の専任教員の配置を計画しています。

6 施設整備の基本的な 考え方

社会保育学科の設置に伴う施設整備については、関係する法令、規則および諸規程などを踏まえて保育士および幼稚園教諭の養成に関する教育課程等へ対応するとともに、増加する学生・教員への対応を図り、必要な施設、設備などを整備します。

また、既存施設の有効活用を基本として必要な改修・改造などを行うとともに、改修・改造では対応できない施設は、新たに整備することになり、建築費用で約5億円、備品の購入等で約1億円、合わせて6億円程度の事業費を見込んでいます。

今回の計画は、文部科学省など所管官庁への届出・申請前の計画段階の結果、変更になる場合もあります。

問い合わせ

名寄市立大学事務局総務課

☎ 01654②4194

HP <http://www.nayoro.ac.jp/>

市民説明会

社会保育学科設置計画の概要・名寄市の財政運営などを詳しく説明します。市民の皆さまの貴重なご意見をお願いします。

(1) 名寄会場

とき 2月10日(火) 1回目 14:00
2回目 18:30

ところ 駅前交流プラザ「よーな」(東1南7)

(2) 風連会場

とき 2月12日(木) 18:30

ところ ふうれん地域交流センター(風連町本町63)

※申し込み不要。直接会場にお越しください。